

会社訪問



おじゃマンⅡ号の  
**儲かりまっか!**  
大 演



株式会社 アイ・ジー・エス  
和歌山市次郎丸30番地

会社概要

代表取締役 泉 實 泉社長  
昭和20年10月17日生 65歳

設 立 昭和55年9月 大阪ガス(株)住宅設備機器特約店として、泉興業(株)設立  
平成3年 株式会社アイ・ジー・エスに社名変更  
南大阪営業所(泉佐野市)・岩出営業所

事業内容 大阪ガス(株)設備機器メンテナンスサービス会社、給排水衛生設備工事、管工事業・上水水給配水管修繕工事他

従業員数 30名

資格等 ISO9001認証取得 エコアクション21認証取得 1級管工事施行管理技士(4名) 1級土木施行管理技士

社 是 知考言行(知考とは、技術、ノウハウ、情報を蓄え、それをもとに知恵を絞ることです。言行とは、真剣に議論し、決定した事は徹底して実践に移すことです。)

おじゃマンⅡ号の「もうかりまっか!会社訪問」は、水道・ガスの両業界で活躍されている泉鋼管工事株式会社の代表取締役でもある、ジェントルマン泉實社長にインタビュー。

おじゃマンⅡ号：「わが社は工事会社です」という事で、『社員の幸せ』『現場第一主義』『地域への貢献』を経営理念にされているとのことですが?

泉社長：「社員の幸せ」ですが、工事は社員が行います、社員の一人一人が自分の人生に幸せを感じ、生きがいを得ることができれば、必ず価値のある仕事ができるに違いありません。会社

の発展と社員の幸せは一体です。『現場第一主義』は、基本に忠実で確実な施行。高品質な施行。さらに新技術に積極的に対応し、より安全に、より効率的な施行。現場が顧客に安心と信頼を提供する。『地域への貢献』とは、水道・ガス工事は、地域に密着した事業であり、地域の信頼を得て、そして当社に発展のチャンスを与えてくれる地域に対し、貢献しなければなりません。

おじゃマンⅡ号：売上げの9割がメンテナンスサービスだそうですし、緊急時の対応を含め365日・24時間の出勤体制を整えているそうですが?

泉社長：南大阪地区から和歌山市・海南市・橋本市・岩出市を事業区域として、約3万5千戸の顧客があり、年間6千件の修繕工事・定期検査また、ガスの開栓業務を行っています。

おじゃマンⅡ号：泉鋼管(株)の社員さん(140名)に家族の方を含め、大勢の幸せを背負っている泉社長さんですが、休日は、どう過ごされていますか?

泉社長：ここ数年、健康の事も考え、朝7時から100円玉5枚片手に地元でもある根来寺(本堂を含め4ヶ所)と坂本神社(氏神)へ6~7キロ歩いて参拝しています。

おじゃマンⅡ号：いつも、ジェントルマン泉社長は、『社員の幸せ』を願っているんですね。



泉社長と社員さん

趣味のコーナー  
 うちの  
**何と!**  
 驚きました  
**陸海空編**

うちの『何と驚きました。趣味のコーナー』は、昭和5年（80年前）に設立、戦前は兵舎の水道工事もしていた超老舗の株小向商会3代目社長で我々管工事組合の理事長でもある小向俊和社長（昭和25年8月31日生・60歳）にインタビュー。

**うちん**：小向理事長、最近ホールインワン出たらしいとの事ですが何か賞とかあったんですか？

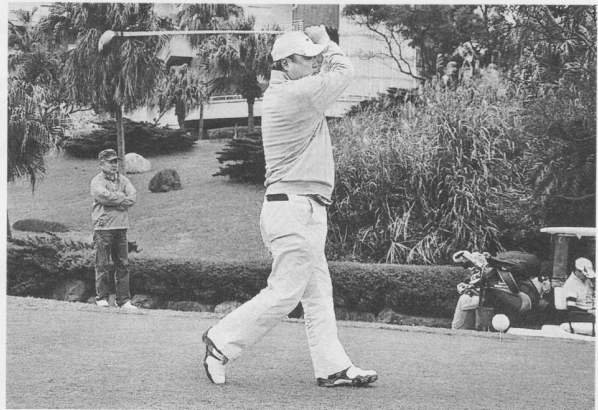
**理事長**：和歌山カントリーの月例の大会だったんだけど、特に賞とかは無かったんだが、記念植樹をした、そのコースでは、20年ぶりのホールインワンだったらしい。ゴルフを始めて25年になるけど、生涯初めてのホールインワン。

**うちん**：結構ゴルフは、よく行くんですか？大会とかで優勝したことは？

**理事長**：月に3~4回行くかな、海外（サイパン・グアム・台湾他）も行ったけど、最近は年に1回沖縄とか宮古島・奄美大島に行くかな、寒い時期の暖かいゴルフ場、優勝というほどでもないけど管工事組合の有志の会『紀の水会』で年に1、2回集まってするコンペで優勝した、濱本局長に鎌田工業所社長、ロータリーサービスの金田社長も優勝してる。まーゴルフしながら釣りの話ばかりしてるけど。読者の皆さんも是非参加してください。

**うちん**：釣りもするんですか？そうか！鎌田社長は趣味のコーナー『釣りバカ日誌』編の師匠ハマちゃんですからねー。

**理事長**：私の釣りの師匠でもあるんです、本当はゴルフより釣り暦の方が長いかな（30年・1級小型船舶免許と21フィートの釣り船を所有）月に2回程度南は初島、北は加太から淡路島付



小向理事長

近まで行くなー。鯛を目当てに朝早くから行くんやけど、鯨に鯛に変わったもんでヤガラなんか釣ったし最近では、太刀魚を30本ぐらい釣ったかな。イルカの群れにも遭遇して船で追いかけてりするの楽しいよ。ただ3mぐらいのシュモク鯨（目が両方に飛び出している人食い鯨）が船の下を通り過ぎた時は驚いたけど。

**うちん**：それはそうと、理事長！休日はゴルフに釣りに何か忘れていません、家族サービス！

**理事長**：そんなことないよ！料理も好きで釣ってきた魚で煮付けもするし、得意料理は鯛の姿造り、それに陶芸も始めて器にも凝っている今日この頃。

**うちん**：理事長の意外な側面ですねー、そろそろ長老4人組で居酒屋『紀の水』オープンですね。ちなみにメニューは理事長の鯛の姿造り、局長のダッチオープン料理、金田社長の猪・鹿料理、鎌田社長のメバルの煮付けと奥さんの鯖の生酢鮓（※紀の水『趣味のコーナー』第26号・第10号・第20号より）



趣味の陶芸作品



編集後記



★16年前に阪神淡路大震災がありました、まだその記憶が薄れることなく今回の2011年3月11日の大震災が起きました、「災害は忘れたころにやってくる。」、大正時代の随筆家の言葉が有名になった文言ですが、忘れる間も無く災いが起きました、生涯に於いて大きな災害にあわなければ幸運に過ごせたと考えなければならぬことでしょうか、また災害は必ずやってくることを認識して備えなければなりません。

★上下水道等のライフラインの大切さは被災地の状況を映像などで観るたびに痛感いたします、私たち水道事業の従事者として、被災地に協力をすることもありますが、日本人全てが被災者と自覚して復興に勤めましょう。

★また、今回の震災でいろいろな問題が浮上してきました。

そのひとつにエネルギー問題です、原子力に

頼らなければエネルギー開発に未来は無いとまでいわれています、しかし今回厳しい現状を突きつけられました、はたして原子力の更なる安全性を求め再構築していくか、また新しいエネルギーを開発していくか、選択するのは私たち日本国民となります。

そして緊急救助、支援の危機管理体制です、阪神淡路大震災の教訓がはたして国の危機管理体制に反映されていたのでしょうか？そして今回のことで学んだことは・・・

★長い景気の低迷の上に、大きな災害でなお厳しい情勢が続くと思われませんが、希望を持って前進いたしましょう。

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様方には、一日も早く元の生活に戻れることを心よりお祈り申し上げます。

編集委員一同

■組合だより 紀の水

●発行  和歌山市管工事業協同組合  
理事長 小向俊和

●編集 紀の水編集委員会

〒640-8251 和歌山市南中間町12  
TEL(073)436-6801  
FAX(073)436-6804  
URL <http://www.w-kankoji.com>  
E-mail:wakayama@w-kankoji.com